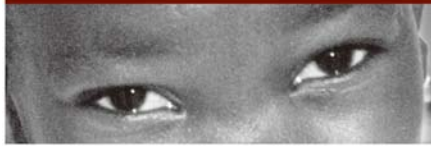


# アフリカでミレニアム開発目標の達成を



MDG アフリカ運営グループの勧告

プレスリリース（非公式訳）  
国連広報センター

## 援助停滞の中、アフリカ指導者と主要国際機関がアフリカでの MDGs 達成方法について画期的コンセンサス報告書を発表

### 既存の公約を貧困、飢餓、疾病対策の具体的成果につなげる計画に合意

（シャルム・エル・シェイク、エジプト、7月1日）アフリカが重大な転機を迎える中で、また、G8 北海道洞爺湖サミットでのアフリカ貧困削減促進策に関する討議を1週間後に控え、アフリカ主要国の指導者は国際開発機関と声を一つにし、G8 はアフリカ開発への支援というこれまでの約束を果たす必要があること、そしてアフリカ指導者と国際指導者が、この支援を大陸全土での貧困削減に用いるための実際的計画を作成したことを明らかにしました。

アフリカ連合（AU）サミット最終日、アシャ＝ローズ・ミギロ国連副事務総長、AU 議長国タンザニア連合共和国のジャカヤ・キクウェテ大統領、そして AU 委員会のジャン・ピン委員長は、画期的な報告書を発表しました。報告書の作成と承認には、これら各機関のほか、アフリカ開発銀行グループ総裁、欧州委員会委員長、国際通貨基金（IMF）専務理事、イスラム開発銀行グループ総裁、経済協力開発機構（OECD）事務局長および世界銀行グループ総裁もかかわっています。

この報告書は、潘基文（パン・ギムン）国連事務総長の発意で設置された MDG アフリカ運営グループの手によるもので、アフリカがどのように極端な貧困や飢餓、病気と闘い、2015 年までにミレニアム開発目標（MDGs）を達成していけるのかを細かく示した一連の主要勧告からなっています。特に就学率の引き上げやきれいな水へのアクセス改善、HIV／エイズ治療普及の分野では、一部の国々が大きな前進を果たしていますが、目標達成のめどが立っていないアフリカ諸国も多くあります。

「主要な国際機関の間にはこれまで、アフリカで MDGs 達成の見通しを立てるために実施すべき具体的な政策やプロジェクト、プログラムに関し、明確な理解がありませんでした」と潘事務総長は語っています。「MDG アフリカ運営グループの勧告は、この地域で前例のない、しかも不可欠な前進の達成に向けたロードマップを提供するものです」

重要な点として、これら勧告は、G8 諸国が対アフリカ政府開発援助（ODA）を 2010 年までに年間 250 億米ドル（2004 年のドル価値）増額するという、グレンイーグルズ・サミットでの公約を果たすことを前提としています。しかし、OECD 開発援助委員会（DAC）の最新データを見る限り、対アフリカ ODA はこれまでのところ、純額で約束された年間 250 億米ドルの 4 分の 1 程度しか増えていません。2007 年の米ドル価値に直すと、グレンイーグルズ・サミットでの公約を果たすためには、アフリカ全体に対する二国間 ODA 供与を純額で年間約 620 億米ドルとする必要があります。



キクウェテ大統領は「運営グループの勧告は実施要請にあたる」と語っています。「勧告では、MDGs 達成に向けた今後の取り組みにとって欠かせない農業や教育、保健、インフラ整備に重点を置いた投資の概要が示されています。飢餓や病気などの被害の広がりを確実に食い止めるためには、今こそ勧告の実施が必要なのです」

「アフリカの指導者たちは、G8 がこれまでの約束を実行に移すことを期待しています。これは国際社会の信用にかかわる問題です」とピン委員長は語っています。「追加的な資金供与があれば、アフリカ各地で見られる開発の成功例を、さらに多くの国々で実践することができます。国際機関の『お墨付き』を得た MDG アフリカ運営グループの勧告は、このような成功をアフリカ全土に広げるための枠組みを提供しています」

運営グループは、アフリカでの MDGs 達成に必要な外部資金について、これまでで最も総合的な評価を発表しました。EU と G8 による既存の公約が実行され、その他資金源からの援助が今の水準に保たれれば、運営グループ勧告の実施に必要と見られる年間 720 億米ドルの外部資金は、十分に調達できます。

食糧価格の高騰や記録的なエネルギー・コスト、気候変動はいずれも、MDGs 達成に向けたこれまでの前進を台無しにするおそれがあります。世界銀行の試算によると、食糧価格の高騰と気候変動が重なれば、1 億人以上が極端な貧困に陥りかねません。そうなれば、この 10 年で世界の貧困層が手にしてきた利益が、ほとんど失われてしまいます。

MDG アフリカ運営グループの勧告は、アフリカで「緑の革命」を呼び起こすための農業への重点投資、教育と保健医療制度への支援強化、大陸全土のインフラと交易網の深刻な不備を補う大がかりなプロジェクト、および、MDGs 達成に向けた進捗状況をより効果的に把握できるようにするための国家統計システムの整備を求めています。勧告はまた、こうした投資を賄うための支出が増大する中で、ODA の質と予測可能性の改善も求めています。

多くのアフリカ諸国での急速な経済成長や、国内資源動員に向けた決意の高まり、ガバナンスの改善、政策パフォーマンスの向上を受けて、運営グループは、アフリカでの 2015 年の MDGs 達成が依然として可能だとしています。アフリカ各国政府のこうした本格的取り組みに応え、G8 諸国はこれまでの援助公約を遂行し、アフリカが貧困対策で大きな成果をあげられるようにする必要があります。

**さらに詳しくは、下記にお問い合わせください。**

**Margo Buchanan**, Tel: +1 646 578 4322, Email: [margo.buchanan@undp.org](mailto:margo.buchanan@undp.org)

**Fethi Debbabi**, Tel: +202 18 144 7227, Email: [fethi.debbabi@unic-eg.org](mailto:fethi.debbabi@unic-eg.org)

**Habiba Mejri-Cheikh**, Tel: +251 91 120 1652, Email: [HabibaM@africa-union.org](mailto:HabibaM@africa-union.org);

[Mejri-cheikh.habiba@hotmail.com](mailto:Mejri-cheikh.habiba@hotmail.com)

**また、[www.mdgafrica.org](http://www.mdgafrica.org) もご覧ください。**

